

羽田空港トリアビ51

◆空港の安全を支える縁の下の力持ち◆

今回は普段あまり知られていない空港の安全を守る人たちについて紹介したいと思います。

羽田空港には、飛行機が離陸したり着陸したりする滑走路と呼ばれる施設が4本、着陸してターミナルビルまで地上を走行する誘導路と言われる施設が約66,000mもあり、この舗装に少しのクラックや穴でも空いてしまうとその施設は即座に閉鎖となるなど空港は大変厳しい条件下の中で運用されています。そのため定期的に滑走路や誘導路等を夜間に計画的に閉鎖して国の土木職員等が点検し異常箇所を早期発見、不具合の進行状況を常に把握することを目的として巡回点検を実施しています。

巡回点検は、いくつかのやり方がありますが、一番大変なのは徒歩による目視点検及び打音調査等※で滑走路や誘導路等の舗装を確認し、異常があればその場で壊れる前に事前に補修するというのですが、一般的な空港は年3回実施していますが、日本の基幹である羽田空港においては滑走路や主要誘導路は年9回、誘導路は年6回の巡回点検を実施しています。

毎日、お客様を沢山乗せた航空機が安全に飛ぶことができるのも、皆さんがぐっすり眠りにつかれています深夜にこのような地道な仕事をしている縁の下の力持ちがいるということも覚えて頂ければ幸いです

※打音調査とは、杖のようなハンマーで舗装路面を叩き、異常箇所を音で聞き分け(健全な舗装であれば軽いキンキンと音がするが舗装に異常があるとポコポコと鈍い音がする等)

「稲荷前町会ハロウィン祭り」 昨年十月二十八日、稲荷前町会では初めてハロウィン祭りを開催致しました。当日は町会の子供達を含めて六十名以上の方々が参加しました。各家々を廻り、ハッピーハロウィンと声かけすると菓子が配られ、喜んで子供たちの声・笑顔がとてステキでした。

(稲荷前町会)

「リズム・ジャンプ」 四月二十八日(日)、第七十三回大田区子どもガーデンパーティーが五年ぶりに開催され多くの子ども達、親子連れが集まりました。『楽しさは、みんなで作ろう! ガーデンパーティー!』のスローガンに、音楽にあわせて飛んでジャンプそして笑顔。インスタクターの渡辺智典氏から「みんなを体を動かす楽しさを、感じてもらえたら



稲荷前町会 ハロウィン祭り

嬉しいですね。来年も一緒にリズム・ジャンプをしましょう。」と言ってくれました。各町会・協力団体が一つになったガーデンパーティー「大成・功」

(本羽田三丁目都南自治町会)



リズム・ジャンプ

「日枝神社例大祭」 毎年四月二十九日羽田神社で行われています。日枝神社は、西町前河原の守護神として祀られ、御祭神は、五穀豊穡、家内安全、景気回復にご神徳があるといわれています。現大田区体育館の所に焼失をのがれた社があったので、それを頂き羽田二の



羽田神社にて

(前河原町会)

二十八の五(大師橋際)に再建いたしました。その後昭和三十六年両町会の合意により羽田神社に合祀を許され境内社となりました。今年には前河原町会が当番で八年振りに御神輿を出す事に、西町町会了解のもと決定し、晴天の中ヨコタオイデと両町会を練り歩く事ができました。大勢の若者の笑顔いっぱいのお祭りになりました。

作品展示会を開催

「秋の作品展示会を開催」

令和五年十一月二十五日(土)二十七日(日)下仲町会会館二階で、羽田第三シニアクラブによる初めての作品展で出展した(書道・写真・パッチワーク・編み物)に挑みました。会員のみなさん、町会の方々、他町会の方々の多大なるご協力のもと、二日間約八十名の方に観覧を頂きました。壁にボードを張っていただき準備万端に会場が出来上がり、作品の陳列もあつという間に整い、季節に合わせてクリスマスノの装飾が会場を盛り上げてくれました。シニア会ではこれからも講習会を開き、会員相互のコミュニケーションを図り、作品制作に励んでいきたいと、より一層感じました。



秋の作品展示会

作品を提供して下さった皆さんの中では、終了しただけでなく、すぐ次回の話など話して下さる方もいた。次回への大きな励みとなっています。皆さんの皆さんで作り上げた成功した、素晴らしい展示会だったと自負しております。

(投稿 羽田第三シニアクラブ 田村 昌子)

「第八回作品展開催」

会員及び近隣地域とのコミュニケーションの浸透を目的に、昨年十一月十七日(日)十九日に稲荷前町会会館で作品展を開催。出展者も年々増加し二十六名が手芸・写真・書道・切り絵などを出展、また併設で作品即売会、見守りキーホルダー更新を行っている、三日間で百九名に來場頂き、即売会での上のの一部を社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。地域コミュニケーションが崩壊しつつある昨今、人と人との繋がりを如何に充実させていくかが今後のテーマになると思えます。



第八回作品展

第六寿会は、介護予防体操年三回のセミナー、研修旅行などを実施しながら、会員間のコミュニケーションを図って参ります。

(投稿 羽田第六寿会 『稲荷前』)

「羽田青年連合会 創立五十周年を迎えて」

我々、羽田青年連合会は今年で創立五十周年を迎えました。三月十七日に羽田青年連合会創立五十周年記念式典を行いました。式典へご出席いただきました多数の皆様方、当会の活動へ日々ご尽力していただいている地域の皆様へ、この場を借りて御礼申し上げます。

当会は「地域の皆様をはじめ、次世代を担う子供たちに楽しいお祭りの思い出を残していきたい」という強い思いを掲げ発足され、「羽田のお祭り」を盛り上げるとともに、お祭りを通じ地域活性化活動、地域貢献活動をおこなっております。

歴史ある羽田の文化や、お祭りが永く伝わって欲しいという思いとさらさら、羽田青年連合会役員一同これから邁進してまいります。



羽田青年連合会会員

(羽田青年連合会役員一同)

「地域の子どもたちのふれあい」 一月七日(日)新春たこ作りがあり四十名参加、それぞれ色とりどりのたこを作り又餅つき、ビンゴ等楽しみました。三月三十一日(日)青少年部の親子の地域懇談会が行なわれ、バーベキューでワイワイと食事、七十名と参加人数も多く天候にも恵まれ、新しい友達を作ることができ、とても良い会でした。子供は宝と地域皆で見守っていきます。



親子のレクリエーション

「西町町会正月マラソン五十回記念大会」 新春一月七日(日)恒例の正月マラソン大会が開催されました。コロナ禍の影響で四年間の開催中止、例年一月二日に開催されていた大会を七日に変更した営み、五十回記念大会と、例年通りという言葉が使えない中の大会になりました。大会は、鈴木晶雅区長をはじめ、多くの来賓に来ていただき、区長のビストルの音で、幼児クラスからシニアクラス総勢四十九名のランナーが、元氣良く多摩川の土手を走り抜きました。会場では、全員におしるこが提供され、表彰状は入賞者に賞状とメダルが町会長より授与されました。最後に、ランナー、関係者全員にお菓子が配られ無事終了することができました。



正月マラソン大会

(西町町会)

TOPICS